



Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア 株式会社人材サービス YOU

第 22 号

2025 年 8 月発行



Interview

ジョブサポート YOU 旭ヶ丘
支援員・社会福祉士・保育士

か が わ よ し え
加川 佳枝

軽やかに会話と笑顔が飛び交う
ジョブサポート YOU 旭ヶ丘。先輩
キャストに囲まれながらも気負わず
会話に飛び込み、時には冗談で皆の
笑いを誘うのが、2024年10月に
入社した加川佳枝だ。柔軟な性格で
ありながら、ゲストへの向き合い方は
きめ細やかで観察力は鋭い。そんな
加川の仕事に対する思いに迫った。

きっかけは家族の存在

4人兄弟の中で育った加川。
兄が重度の知的障がいを抱えて
いたこともあり、障がい福祉の
道に進むことは自然の流れだっ
た。

「兄の支援学校で家族が参加
できる行事があればついて行っ
たり、レスパイト先の施設に迎
えに行った際に、一緒に遊ばせ
てもらったり、常に身近な存在
でした」

大学では社会福祉を専攻し、
ゼミや授業で障がい者福祉を学
んだ。少し回り道はするが、在
学中のボランティアや実習で、
就労支援施設で働く機会に恵ま
れたことが、今に繋がっている。

印象的な利用者の表情



コミュニケーションが豊富な
ジョブサポート YOU 旭ヶ丘のキャスト

大学卒業後は、小児に関わる
職場に就職。放課後等デイサー
ビスでの勤務を経験した後、保
育士として働いた。働きながら
も思い出されるのが、就労支援
施設で目にした利用者のイキイ
キとした表情だったという。

「生きがいを持って働いている
利用者さんの表情が忘れられな
くて。一人ひとりにきちんと向
き合っているのか、もどかしさ
を感じて転職を決意しました」

在宅利用の魅力に惹かれ

数ある就労支援施設を見学
する中で、出会ったのがジョブ
サポート YOU だった。入社の
決め手は在宅利用というサービ
スの存在。

気持ちに寄り合いながら

「こういうサービスがあるこ
とを知らなかったので、びっく
りしました。障がいや健康状態
など様々な事情で、日中に通う
ことができない方がいます。そ
の方々が社会と繋がるきっかけ
を作っている、ということに感
動しました」

小児に接する機会が多かった
加川にとって、社会経験も豊富
なゲストへの、言葉選びや接し
方は難しく、特に気を配ったと
いう。プライドを尊重し、マイ
ナスな発言をしないように、慎
重に丁寧に、向き合ってきた。

一方で、一人ひとりの心を見
ようとする姿勢は、変わらない。
放課後等デイサービスや保育園
で働いていた時には、保護者の
気持ちを汲み取ることができず
に、反省することが多かった。
その時の葛藤を糧に、今は、言
葉の裏側にある思いを、表情や
会話の中から推察しようと努力
している。
「例えば、言葉では大丈夫と
言っているけど、ずっと無表情で

毎日1時間以上の通勤時間を乗り
越えながら、家事も頑張る加川

加川佳枝さんってどんな人？

ゲストの気持ちに誠実に向き合う加川さん。

そんな加川さんを良く知るお二人に、加川さんの素顔を伺いました！

Q1 加川さんを一言で表すと？

まじめ



ジョブサポートYOU
旭ヶ丘 管理者
やまだ しゅん
山田 俊さん

Q2 加川さんの「すごいところ」を教えてください！

一つの仕事をお願いすると、責任を持って最後までやり通すところ。

Q3 加川さんとの思い出エピソードを教えてください！

たくさん食べるし、お酒も飲めるんです！

感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも真摯に仕事に取り組んでいただきありがとうございます。ゲストからの信頼も厚いので、これからも頼りにしています。

大丈夫じゃないんじゃないかと感じることはありません。本人が自分で判断つかないこともあると思うんです」

そんな時には迷わず、周りのキャストに相談をする。

「ここは相談をしたり共有することが日常で、何でも話せるんです。キャストみんなでゲストに感じるのだろう。」

トを見ている感じがして、とても心強いんですね」

そう思えるのは、保育士時代の経験が大きい。一人で二十名のほどの園児を見守る状況に、孤独を感じていたという加川。だからこそ、ジョブサポートYOUの風通しの良さを、人一倍大切に感じるのだろう。

Q1 加川さんを一言で表すと？

真面目！

何事にも一生懸命！

Q2 加川さんの「すごいところ」を教えてください！

手先が器用です！細かい製作作業でもとても綺麗に仕上げています！！

Q3 思い出エピソードを教えてください！

外部から依頼されるパソコン入力作業で、私自身マニュアルが理解できない時があります。加川さんは理解が速く、親切に教えてくれて、助けて頂いています！

幅広いサポートを目指す

そんな加川が今、目標としているのが、サービスマン管理責任者の資格取得だ。

「当事者の家族だったら、どういうサービスマンを使えるのか、知らずに困っている方もいると思うんです」

一人でも多くの方の力になれるよう、さらに専門知識を深めていきたいと語る。ゲストが望む生活を送れるように、日々心を砕きながら奮闘する加川。家族の存在に後押しされ、加川からの考えられる、ゲストへの向き合い方がさらに増えていることだろう。



ジョブサポートYOU
旭ヶ丘 支援員
あらい りょうすけ
新井 良介さん

感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも助けて頂きありがとうございます！！私が冗談を言う時、流されますが反応して頂けると嬉しいです（笑）今後ともよろしくお願いいたします！！



私たちががんばっています！ 外国籍キャストの成長記録

言葉も文化も異なる日本で頑張る2人の外国籍キャストの成長記録をレポート！

日本へ来たきっかけや入社の決め手、仕事に慣れるまでの苦労など、
お二人の上司からのメッセージとともにご紹介します！



ショートステイ
ここさいむら小田原
テースワエーさん
入社年月：2024年10月

入社した経緯 人との関わりの中で自分を成長させたい！

日本文化に興味があり、日本でスキルを磨いて成長したいと思い、日本で働くことを決めました。
また、人と関わることが好きなので、自分に向いていると思い介護の仕事を選びました。

成長したこと 頼られることが増えた！

新しい業務を一人でこなせるようになったり、周りの人に頼ってもらえることが増えたとき、成長を実感しました。

上司からの参考になったアドバイス

仕事の質アップ『小さなことも丁寧に』

『小さなことも丁寧に』という先輩からのアドバイスで、仕事の質を意識できるようになりました。
また、「無理せず相談してね」と声をかけてもらってから、困ったときにすぐに周りに相談できるようになり、ミスが減りました。

今後挑戦したいこと 新しいことにチャレンジしていきたい

新しい業務にも積極的にチャレンジしたいです。そして、専門知識を深め、介護福祉士を目指していきたいです。



ショートステイ
ここさいむら小田原
管理者
さとう たつや
佐藤 辰也さん

上司の佐藤さんからメッセージをいただきました！

Q. 入社当時と比べてテーさんが
成長していると感じる点はどこでしょう？

入職当時から明るく、ゲストやキャストを包み込む
雰囲気がありました。それは今でも変わりません
が、自らゲストを見て、困っていることに先回
りをして声がけをするようになりました。

テーさんへメッセージ

笑顔が素敵なテースさん。あなたの笑顔で救わ
れているゲストの方々が多くいらっしゃると思
います。あなたの気遣いや声がけは、ゲストの
方々を安心させ、頼られ、信頼を勝ち取って
います。今後もゲストの方々に優しく包む存
在で、一緒に頑張っていきたいです。



ショートステイ
ここさいむら小田原
ピュータンさん
入社年月：2024年10月

入社した経緯 日本文化を学ぶため日本へ

日本の文化や生活様式を学びたいと思い、日本で働くことを決意しました。介護業界は、高
齢者の方々と関わるので、日本の文化やマナーを学ぶには最適な環境だと感じ選びました。

成長したこと 毎日が勉強の連続です！

自分自身が成長している実感はありません。介護の仕事は日々違った出来事があり、常
に新しい学びや気づきがあるため、毎日が勉強の連続だと感じています。

上司からの参考になったアドバイス

「大切なのは失敗を次に活かすことだよ」

ミスをしてしまった時、「人は誰でも失敗するもの。大切なのは、その失敗から学び、次に活
かすことです。完璧である必要はありません。自分の努力を信じて、一步一步進んでくださ
い」と言われました。その言葉に励まされてから、同じ失敗を繰り返さないように、できる限
り注意を払えるようになりました。

今後挑戦したいこと 介護福祉士の資格を取る！

介護福祉士の試験を受け、認知症に関する知識をより深く、正確に学びたいと思います。



ショートステイ
ここさいむら小田原
管理者
さとう たつや
佐藤 辰也さん

上司の佐藤さんからメッセージをいただきました！

Q. 入社当時と比べてピューさんが
成長していると感じる点はどこでしょう？

入職当時は、ゲストとの交流やキャストとのコミュニ
ケーションに不安を感じることが多くありましたが、
現在では、積極的にゲストに話しかけ、行
動し、ケアをして下さっています。

ピューさんへメッセージ

何事にも前向きなピュータンさんですから、色々な
試練に直面する場面があるかもしれません。その際
は、周りのキャストや私に対して、気兼ねなく不安や
不満、楽しかったことやうれしかったことを共有して
ください。今後も一緒に頑張っていきたいです。

専務取締役就任

介護事業部
小田原拠点統括
菅原 ユミ



今年で勤続25年目に突入する菅原ユミさんが、2025年6月1日付けで、専務取締役に就任されました。入社以来、新規事業所の立ち上げや拠点統括マネージャーなど幅広い活躍で、会社にとってなくてはならない存在の菅原さんに、役員就任のご挨拶をいただきました。

真摯に向き合い 積み重ねた24年

6月1日付けで、専務取締役に就任を致しました。私がかこみケアに入社したのは、2001年8月6日のこと。介護未経験で入職して、もうすぐ24年が経とうとしています。あつという間の24年間でした。長いような短いような…ここみケアでは沢山の経験を積みさせていただきました。また、これまでたくさんのゲストやそのご家族、共に働いてきた沢山の仲間から色々なことを学ばせていただきました。

改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。私、失敗しないので…と胸を張って言いたいところですが、決して成功ばかりではありませんでした。元々病院で勤務していたものの、介護の世界、特に認知症の毎日でした。3日で辞めたくなつたのは事実です。なぜ辞めたくなつたのかと振り返ってみると、認知症の方が怖いという第一印象でした。当時、ピック病の方4〜5名のご支援をさせていただいており、なぜ、この方たちは…とクエスチョンでいっぱいでした。私は認知症について解らない事の方が多く、不勉強だったのです。そんな私が心掛けてきたことを3つ紹介します。

まず一つ目は、解らないことは調べる！
無知って怖い。???が怖いであれは勉強してみよう！知識を得ると考え方が変わる、見方が変わるということに気づきました。

解らないことは沢山ありますが、そのままにしないで必ず調べることが今も続けています。

2つ目は、「できない」という先入観を持たずに、どうすれば「できる」かを考えて試行錯誤を繰り返すことです。

困難に直面した時に、困難を乗り越える方法よりも、乗り越えられない理由について考えがちです。もちろん物事を進めるうえでリスクはあります。リスクがあるから出来ないではなく、そのリスクを明確にして「どのように対処すればいいのか」ということができる理由を考えます。

3つ目は、本来受けたくない介護を、この人になったらお願いしたい！と思っていただけのようなケアです。

ゲストは様々な理由から要介護状態に至り、介護（支援）を必要とされています。

誰が好んで排泄介助を受けたと思うでしょうか！誰が好んで他人に入浴介助を希望するのでしょうか！

相手の気持ちに寄り添い、ゲ

会社に対する思い

ここみケアが掲げている「生活を護る」こと。それが私たちの使命です。また、「日本中に笑顔を作る法人になる」というビジョンは、地域や世代を超えて、誰もが安心して暮らせる社会を築くための指針です。私自身、このビジョンを胸に、サービスのさらなる向上や新しい取り組みに邁進しています。

今後に向けての抱負

ここみケアは元々、頑張り次第でチャンスがある法人です。キャスト一人ひとりが主体的に挑戦できる風土を創りたいです。社内プレゼンテーションなどを通して、キャストの声を傾け、意見やアイデアが活かせるような組織となるように尽力したいです。

キャストの皆様へのメッセージをお願いします

日頃の業務、本当にお疲れ様です。キャストの皆さんの一歩一歩が、ここみケアの未来を照らす光となります。挑戦を恐れず、支えあい、高めあうことで、ゲストの皆様や地域に、より一層の安心と笑顔を届けていきましょう！

ストとの信頼関係を築くことが重要と考えます。常に真摯に向き合い、あなたにお願いしたいと思っていただけ対応を心がけています。

デイサービス部門

送迎の方々はどの方も笑顔が素敵で、本人も喜んで、家族は安心して送り出すことができます。始めは行くことを渋っていましたが、上手に誘っていたいて、今はためらわずにいくようになりました。

明るい声でのあいさつで一日が始まり、今日は何んなことができるのかなと思っています。どの方もやさしく接して下さるのがうれしいです。

スタッフの方々の親切な対応と、個々に合った活動をしているので、毎日通っても、また行きたいというほど生きがいになっています。私たち家族も、日々の見守りや介護から解放される時間があり、とても感謝しています。

気遣いがあり、利用者の身になって対応してくれます。

家族の気づかないところまで絆創膏を貼ってくださるなど、細やかに対応くださり感謝申し上げます。様々な活動に参加させていただき、帰ってくると穏やかになります。

経過報告書で生活状況がわかり、ありがたいです。これからもよろしくお願いします。

訪問マッサージ部門

マッサージはもちろんですが、話し相手になって頂けていることに感謝しています。

本人の様子を見てやさしく対応、気持ちよさそうでした。その後も自分で身体を動かしていました。

ゲストの
お声

こころの便せん

ゲストやご家族からいただいたアンケート『こころの便せん』を共有します。

嬉しいお言葉がたくさん詰まったメッセージは、キャストの皆さんが日々提供する温かいサービスの賜物です。



面会時、スタッフの方が丁寧に日々の体調や生活について説明して下さり、いつも安心しています。食事の支度中に伺うことが多いのですが、美味しい匂いがして、利用者が「食事」で元気になっているように感じます。母も嫌いな野菜を食べられるようになったと話していました。

グループホーム部門

面会に行くと、いつもいい表情をしています。毎日安定した生活を遅れるのもスタッフの方のおかげです。本当に感謝しています。

小規模・看多機 ショート・訪看部門

送迎の方の老人に寄り添った優しい声がけや物腰で、本人の出掛けの緊張が和らぎ、元気に出発できているのでとても助かります。

施設に送った際、朝の忙しい時間帯なのに笑顔で母に声をかけてくれ、安心して利用できます。迎えに行った際も母の様子を知らせてくれて「またお待ちしています」と母に直接声をかけてくれます。

もっと早くに利用できていたら良かったです。本人の話を聞き、きちんと対応してくれたことに感謝しております。ありがとうございました。

事業所不明

認知症の母ですが、嬉しかったことはちゃんと覚えていて、声がけやお話を頂くことが何よりうれしいようです。

より良い見守りができる設備を導入していただいたり、家人の一時帰宅にもご協力いただいています。とても助かり感謝しています。

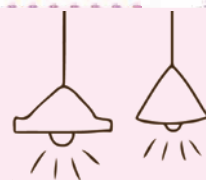
親身にアドバイスしてくれています。



鵜田恵子カウンセリングオフィス
代表

とき けいこ
鵜田 恵子さん

心のカウンセラーとして、これまでのべ5000人以上のカウンセリングを実施。人間関係で起こるコミュニケーションの取り方を中心に、傾聴だけでなく、どう行動していったらよいかまで一緒に考えていくことを大切にしている。2025年4月よりRelation Gate Groupの顧問カウンセラーに着任。仙台市出身。業歴10年目。



／顧問カウンセラー鵜田恵子先生に聞く／

ラクにはたらくコツ



仕事や家庭など どんな場面でも切り離せないのが人との関係。そこで今回は、4月からRelation Gate Groupの顧問カウンセラーとして、キャストの心のサポートを行っている、心理カウンセラーの鵜田恵子先生に、上手に働くコツについてお話を伺いました！

「4月から顧問カウンセラーに着任されましたが、どのようなことをサポートされているのでしょうか？」

キャストの方々と面談を通して、一人ひとりが働きやすくなるように、人との関わり方を一緒に考えたり、お話を伺ったりしています。お話を

聞く中で、必要を感じた場合には、会社側に環境の改善を提案することもあります。

「実際に、カウンセリングをしていて感じることはありますか？」

「こみケアのキャストの皆さんは、人のためになることが好き」な方が多いですね。その中で特徴的なのが、働く方の「年齢層の幅の広さ」です。いわゆるジェネレーションギャ

ブが、ストレスに起因しているケースが少なくありません。

「逆に言うと、ジェネレーションギャップを埋めることで、働きやすくなる可能性が高くなる、ということでしょうか？」

その通りです。介護福祉業界に限らず、ほとんどのケースで、仕事自体ではなく人との関わり方が、悩みやストレスの原因である、というのが、長年の経験を通して感じることです。

人は違って当たり前ですよ。ところが、その認識を意外と忘れてしまつて、自分の価値観で物事を捉えてしまうと、とても苦しくなってしまうんです。そこで大切なのが、相手を「理解しよう」としてみる「ことです。

相手を「理解しよう」としてみる

「具体的に、どう考えるといいでしょうか？」

「年齢層の幅」の話に戻ると、20、30代の若い世代は、理由が知りたい、という傾向があります。理由がわからないと物事を理解しづらいという方が結構いるのですが、それに対し、40、60代の経験豊富なベテラン世代は、「とにかくやれ！」とシンプルな指示を出すケースがよくあります。そのすれ違いから、若い世代がミスを繰り返し、お互いにストレスを感じる、という結果に繋がっています。

そこで重要なことは、相手の生きてきた時代背景を知ること。そのうえで、相手を理解しようと考えてみると良いかもしれません。

【ベテラン世代】

・今の時代の流れ（考え方）を知る
・自分の新人時代を思い出してみる
・一言「どこかわからないところある？」と言葉を加えてみる

【若い世代】

・疑問点を伝えたり、相談してみる

・自分がやりたいことを伝えてみる

ベテラン世代は、業務が多く忙しい状況かもしれませんが、相手に優しく丁寧に向き合う。若い世代は、遠慮せずに気持ちを伝えてみる。そうすることで、両者のコミュニケーションにも変化が生まれるはずです。

「相手を理解しよう」とすることで、自然と自分の価値観が緩んで、結果としてストレスを減らすことに繋がるのです。

そうですね。そうすることで、個々の能力の発揮の仕方が変わる可能性も十分にあります。相手を理解しようとすることは、仕事だけでなく家族に対しても、同じように活かすことができるでしょう。人との関わり方に対する対応力がつくと、仕事をするのも生きるのもラクになるかもしれません。

そして、日常生活の中でモヤモヤしたり、違和感を覚える出来事があつたら、いつでも相談にいらしてください。皆様のご活躍を楽しみに、応援しています。

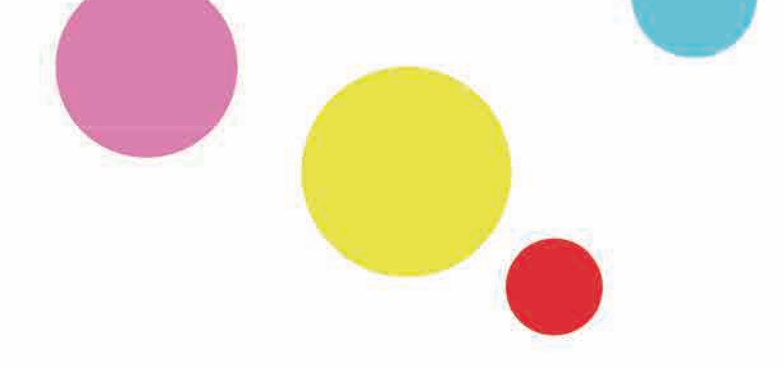
カウンセリングのご案内

【受付窓口】 人事労務課 池田・佐野
【連絡先】 022-397-8783
【申し込み】 直接電話か右記のQRコードから



※カウンセラーへの直接申し込みも可能。
鵜田恵子カウンセリングオフィス
Mail: info@keikotokita.com

Recipe



Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア
株式会社人材サービス YOU
社内報「Relation Gate Magazine」vol.22

2025年8月発行

